

2025 年 10 月 1 日

各位

筑波大学附属高等学校長 校長 藤生 英行

## 筑波大学附属高等学校 第 75 回 高等学校教育研究大会のご案内

秋麗の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、下記の通り第 75 回高等学校教育研究大会を開催いたします。公開授業をご覧頂き、その後の分科会では皆様からのご意見を多数頂戴して、議論を深めたいと考えております。今年度は、各分科会後に「A I 時代の教育」と題した講演会を企画しており、各校での取り組みや課題について、情報交換の場を設ける予定です。

ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

### 記

1. 主催：筑波大学附属高等学校
2. 期日：2025 年 12 月 6 日(土)
3. 会場：筑波大学附属高等学校 東京都文京区大塚 1-9-1
4. 参加申込：下記の事前の申し込みをご利用ください。なお、当日申込も受け付けます。
  - ・ 申し込み方法：お申し込みとお支払いには PassMarket を利用いただきます、本校HPからお進みください <https://www.high-s.tsukuba.ac.jp/shs/wp/> [教育研究／研修] → [研究大会]  
  
PassMarket とは、PC、スマートフォンまたはタブレットでイベントへの参加を申し込み、購入等したチケットを利用できるサービスです。PassMarket を利用するには、ユーザー情報の登録が必要で、その際に、Yahoo! JAPAN ID を用いてログインいただきます。Yahoo! JAPAN ID をお持ちでない場合、大変お手数ですが、ID の作成をお願いします(無料)。
  - ・ 申し込み期間：11 月 1 日(土)0:00 から 11 月 29 日(土)23:59 まで
  - ・ 入力内容：参加者氏名、所属（学校名、機関名等）、参加する教科・科目、情報交換会のご希望を入力ください。情報交換会で扱いたいご質問がございましたら、備考欄へ入力してください。
  - ・ その他：同じ学校・機関から複数参加する場合も、入力は個別にお願いします。行政機関での会計処理などの理由で PassMarket を使えない場合は、本校研究教職部へご連絡ください。
5. 参加費：1,000 円
  - ・ 領収証は大会当日にお渡しします。
  - ・ 申し込み後の参加費の返金は致しかねます。
6. 入校方法
  - ・ 校門入ってすぐの受付テントにて、以下のいずれかの方法で受付をしてください
    - ① PassMarket の QR コードを提示
    - ② 氏名の記載された PassMarket のチケット画面（または印刷したもの）を提示
    - ③ 当日申込の方は、所属、参加教科などをその場で記入し、参加費をお支払いください。

## 7. 注意事項

- ・受付にてお渡しするネームホルダー（ご自身でご記名ください）を校内では常時着用してください。ホルダーは、お帰りの際、校門手前の回収箱にご返却ください。
- ・当日の録画・録音・写真撮影はご遠慮ください。
- ・昼食やお飲み物は各自でご用意ください。
- ・教育研究大会に関するお問い合わせは、筑波大学附属高等学校 研究教職部 へお願いします。

E-mail:kenkyu@sgh-tsukuba.org Tel : 03-3941-7176（代表）

## 8. 時程

| 時間             | 内容           | 国語                    | 地歴・公民       | 数学         | 理科        | 保健体育      | 外国語                 | 芸術                    | 家庭          |
|----------------|--------------|-----------------------|-------------|------------|-----------|-----------|---------------------|-----------------------|-------------|
| 9:30<br>10:00  | 受付           |                       |             |            |           |           |                     |                       |             |
| 10:10<br>11:00 | 公開授業Ⅰ        | 国語と美術<br>の教科横断<br>2年生 | 歴史総合<br>1年生 | 数学Ⅰ<br>1年生 | 化学<br>3年生 | 体育<br>1年生 | 英語コミュニケーションⅡ<br>2年生 | 国語と美術の教科<br>横断<br>2年生 | 家庭基礎<br>2年生 |
| 11:20<br>12:10 | 公開授業Ⅱ<br>分科会 | 現代の国語<br>1年生          | 分科会         | 数学Ⅱ<br>2年生 | 分科会       | 分科会       | 論理・表現Ⅰ<br>1年生       | 分科会                   | 分科会         |
|                | 昼食・休憩        |                       |             |            |           |           |                     |                       |             |
| 13:10<br>15:00 | 分科会          | 分科会                   | 分科会         | 分科会        | 分科会       | 分科会       | 分科会                 | 分科会                   | 分科会         |
| 15:20<br>16:40 | 講演・<br>情報交換会 | 「AⅠ時代の教育」 講師 佐久間洋司先生  |             |            |           |           |                     |                       |             |

## 9. 公開授業

| 教科    | 科目             | 学年  | 授業担当者          | 授業テーマ                                        |
|-------|----------------|-----|----------------|----------------------------------------------|
| 国語    | 国語と美術<br>の教科横断 | 2年生 | 畑 綾乃・<br>小松 俊介 | 「ART×言葉」 ずらして生み出すアプロプリエーションと異化による鑑賞/読解と制作/創作 |
|       | 現代の国語          | 1年生 | 畑 綾乃           | 評論と深く対話する～主体的な読み手としての構造化読解～                  |
| 地歴・公民 | 歴史総合           | 1年生 | 藤本 和哉          | グローバル化への問い                                   |
| 数学    | 数学Ⅰ            | 1年生 | 清和 隼弥          | 三角比を用いた図形の探究                                 |
|       | 数学Ⅱ            | 2年生 | 毛利 哲           | 微分を用いた図形の探究                                  |
| 理科    | 化学             | 3年生 | 柳澤 秀樹          | 生徒の理解を深める生徒主導型の授業                            |
| 保健体育  | 体育             | 1年生 | 征矢 範子          | 高校1年男子ハードル                                   |
| 外国語   | 英語コミュニケーションⅡ   | 2年生 | 桑原 香苗          | 社会的話題を通して思考と対話を深める英語授業の工夫                    |
|       | 論理・表現Ⅰ         | 1年生 | 矢田 理世          | 論理展開を意識した表現活動                                |
| 芸術    | 国語と美術<br>の教科横断 | 2年生 | 小松 俊介・<br>畑 綾乃 | 「ART×言葉」 ずらして生み出すアプロプリエーションと異化による鑑賞/読解と制作/創作 |
| 家庭    | 家庭基礎           | 2年生 | 飯塚 成美          | 「消費者市民」としての意識を育てる家庭科授業の実践                    |

## 10. 講演・情報交換会

講演 「A I 時代の教育」 講師 佐久間洋司先生

佐久間洋司先生のご経歴：大阪大学社会ソリューションイニシアティブ 特任研究員、  
2025 年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 ディレクター、  
一般社団法人 シェイプニューワールドイニシアティブ 代表理事

1996 年生まれ。大阪大学ではバーチャルビーイングや未来社会デザインの研究に取り組む。2025 年大阪・関西万博では大阪ヘルスケアパビリオンのディレクターとして、ノベル型体験プロジェクト「ユーダイモニア」やバーチャルライブ「ARK-或ル世界-」などをプロデュースするほか、シェイプニューワールドイニシアティブを代表してテーマウィークプログラムを主催する。現在、大阪商工会議所 未来社会創成委員会 座長、人工知能学会 未来世代学会タスクフォース 委員長、日本 SF 作家クラブ会員ほか。過去には、ムーンショット型研究開発事業の調査研究ではチームリーダー、大阪大学と科学技術振興機構の共同研究プロジェクトでは研究代表者も務めた。2022 年に日本オープンイノベーション大賞文部科学大臣賞を受賞、2023 年に Forbes JAPAN 30 UNDER 30 に選出。

情報交換会 ①業務の効率化 ②教科教育における AI の活用 ③探究活動における AI の活用

特に情報交換会の①～③のテーマについて、ご講演くださる予定です。申し込み時に、ご希望のテーマを①～③の中からお選びください。また、具体的なご質問がございましたら備考欄にご入力ください。

## 11. 教科分科会のテーマと内容

**国 語** いま求められる国語の力

近年、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について議論が進んでいますが、2025 年とはとりわけ生成 AI の飛躍的な発展により、学校の授業だけでなく生徒の学びのスタイルについても急速な変化が起きているようです。高等学校国語科における取り組みについても変容を迫られるいま、求められる国語の力について、皆さまとともに情報交換をおこない議論を深めたいと思います。

**地歴・公民** 生成 A I と地歴公民科

AI の進展は、地歴公民科における学び方や教材研究の在り方を大きく変えつつある。分科会の議題としては、生徒にとっての学習上の意義と落とし穴を見極め、望ましい活用と望ましくない依存の線引きを考えること、AI を使った学習は探究的でないのかという問いを取り上げ、「AI を前提とした授業」の本来の意味の検討を考えることなどである。これらの議論を通じて、これからの地歴公民科（社会科）教育の方向性を展望したい。

**数 学** 図形を通じた探究的な学びの実現を目指して

本年の数学科の研究大会では、探究的な学びを育むことに焦点をあてる。協働的な学びを通して、三角比や微分など多様な視点から図形を考察する授業を公開する。その上で、教材や授業設計の工夫を通じて、生徒が自ら課題を見だし、協働して探究的な学びを深める授業をどのように実現するかについて、日々の授業づくりに生かせる具体的なヒントを参加者と共に議論する。

**理 科** 生徒の理解を深める生徒主体の授業を実施するために

高校化学の学びを通じて獲得すべき力の一つは、身近な事象や研究を自分の言葉で理解し、他者に説明できる力である。そのためには観察や実験を整理し、モデルを形成する過程が重要となる。本大会では、前半に授業公開とその授業に関する検討を行い、後半に各科目に分かれて育成したい力について議論する。

**保健体育** 体育科教員の種目専門性について考える

ー 経験と探究を大切にしながら、授業づくりの力を教科で築く ー

「種目専門性＝その種目を深く理解し、学習者の特性を踏まえた教材開発や授業設計を行い、指導する力」をテーマに教科分科会を開きます。陸上競技を専門とする教員の授業を通して、専門だからこそできる工夫、誰もが授業に広く応用できるヒント、そして AI 時代だからこそ大切にしたい人間らしい指導の魅力を探ります。そこから専門性をさらに磨き、多様な授業に広がる実践のアイデアを深め、授業づくりを基盤とした保健体育科としてのチームの在り方について考えます。

**外国語** 英語の授業で生徒が思考を深めるためには

言語面や内容面の学びを通して、生徒の思考を深める方策や指導法について扱います。特に、言語材料の扱い方、教科書の題材の提示方法、発問の工夫、気づきを促すインタラクションのあり方に注目しながら、参加者の皆様と情報交換や議論を進めていきたいと考えています。

**芸術** 小・中・高で応用可能！「キッチンリトグラフ」体験ワークショップ

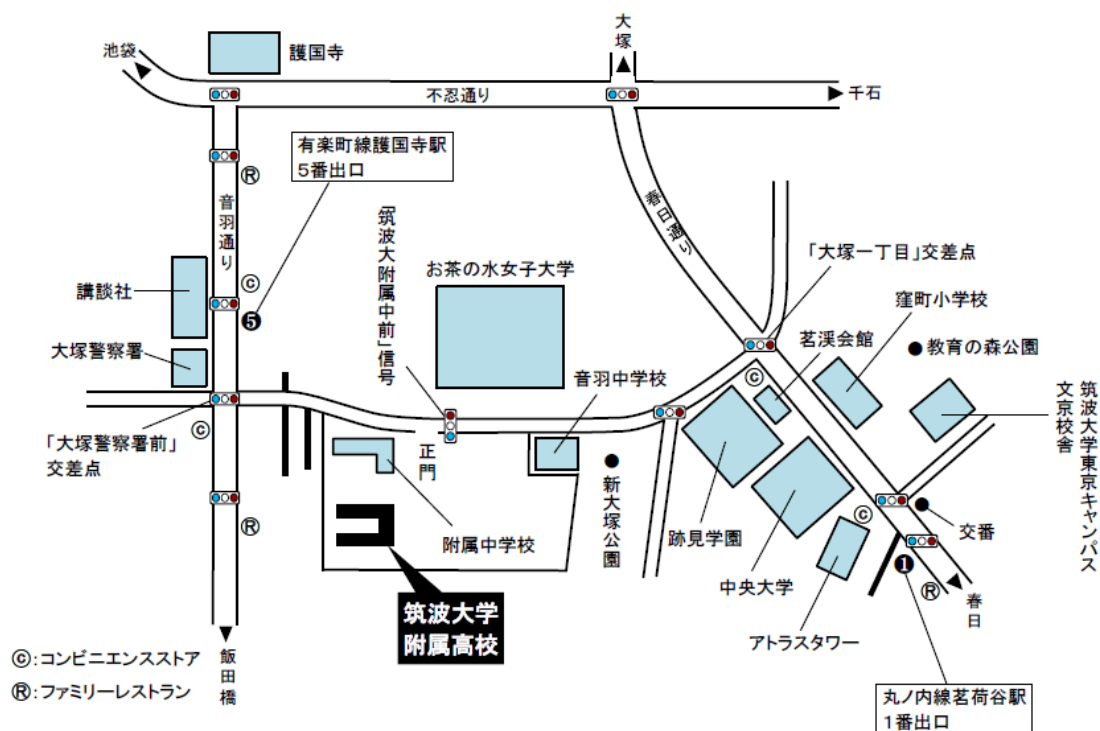
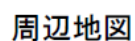
美術と国語の教科横断的な授業実践として、既存の写真や作品に新たな言葉を重ね、文脈を「ずらす」創作表現の取り組みを紹介します。視覚表現と言葉の交差によって生まれる新たな意味や問いを、生徒の作品発表を通して探ります。また、ワークショップでは身近な素材でリトグラフ技法を体験する「キッチンリトグラフ」を通じて、平版表現の可能性について共有します。

**家庭** 家庭科における「エシカル消費」の導入と実践

ー消費者市民としての意識を高める授業づくり

家庭科において「エシカル消費」をテーマとした授業を計画している。現状では、高校生の多くが消費行動や環境配慮が生活の豊かさにつながるという認識を十分に持っていない。そこで、生徒が自らの行動と社会・環境の関わりを実感できる学習を設計した。分科会では、具体的な教材化や評価の工夫、さらに地域との連携を含めた授業づくりについて議論を深めたい。

## 交通アクセス



〒112-0012 東京都文京区大塚1丁目9番1号  
TEL : 03-3941-7176(代) / FAX : 03-3943-0848

\*護国寺駅 徒歩8分 (東京メトロ有楽町線:池袋・飯田橋・市ヶ谷・有楽町方面より)  
\*茗荷谷駅 徒歩10分 (東京メトロ丸ノ内線:東京・御茶ノ水・池袋方面より)